

第 1 1 次宮城県職業能力開発計画（中間案）のパブリックコメントについて

- (1) 意見の募集期間 令和3年11月22日から令和3年12月21日まで
 (2) 意見の総数 計1件（1団体）
 (3) 意見等

| 項目 | 意見等（要旨） | 県の考え方 |
|----------|--|---|
| 基本的方向性 4 | <p>技能五輪を宮城県で開催することは、若手技能者がものづくりという仕事を続けるためのモチベーションになるだけでなく、この大会への出場を現実的な目標と考えることで技能向上を目指すことも期待できる。</p> <p>また、優れた技能競技を身近に見学することで中学生や高校生、一般の人たちにとっても、ものづくりという仕事を知る良い機会になる。</p> <p>以上のことから、技能五輪全国大会の開催を検討してほしい。</p> | <p>技能五輪全国大会は、次代を担う若手技能者の技能向上への意欲を高めるきっかけになるとともに、優れた技能を広く県民に見てもらうことで、ものづくりという仕事を身近に感じ、ものづくり産業への興味関心を促す上でも意義ある大会と認識しています。</p> <p>一方、大会の開催に当たっては、多岐にわたる競技職種の関係団体や会場となる市町村の協力が不可欠であるほか、多額の財政負担を求められるなど課題があると考えており、他県の開催状況や国の動向などを見極めてまいります。</p> <p>こうしたことから、ものづくり体験や企業・工場見学会の実施、動画・広報誌の作成・配布などにより、ものづくり産業や技能の魅力発信に取り組むほか、高等技術専門校の職業訓練や高校等への熟練技能者の派遣、技能検定の受検勧奨、技能コンクールの開催等を通して、今後も、ものづくり人材の育成・確保に努めてまいります。</p> |